

次世代がん治療推進専門家養成プラン

下記により講義を行いますので、学生、教職員の方、多数ご来聴下さい。
聴講は自由です。

記

C a n c e r S y s t e m s B i o l o g y

「がんのシステム生物学概論」

- 5月13日(月) (担当:田中) がんのシステム生物学概論
- 5月14日(火) (担当:茂櫛) がんのシステム解析
- 5月15日(水) (担当:荻島) がんのシステム生物学
- 5月16日(木) (担当:飯島) がんのシステム生物学の実験手法
- 5月17日(金) (担当:高井) 疾患データベースとトランスレーショナル研究

1 時限:18:30-19:50 2 時限:19:50-21:10 質疑応答 21:10-21:30

M&D タワー11F 大学院講義室 3

概 要

近年の網羅的分子計測法の発展により、ゲノム情報のみならず、トランスクリプトーム・プロテオームなどの各手法において、ハイスループットな解析が可能になった。これらの網羅的分子情報は、オミックス情報と総称される。オミックス情報は、これまでの臨床情報や病理情報、あるいは生活習慣環境情報と関連付けることによって、分子から個体レベルまで総体として疾患のメカニズムを理解できるだけでなく、従来にはない精度で疾患の経過、重症化、予後を予測できると期待されている。

こうしたシステム生物学、オミックス情報学の基本的概念とがんの診断や治療における個別化、およびがんの予防における有用性について概説する。

科目担当責任教員:

田中 博 本学難治疾患研究所 生命情報学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

茂櫛 薫 本学難治疾患研究所 生命情報学分野 助教

荻島 創一 東北大学東北メディカルメガバンク機構 講師

飯島 久美子 本学難治疾患研究所 生命情報学分野 特任助教

高井 貴子 東北大学東北メディカルメガバンク機構 准教授

【問い合わせ 教務課大学院室 ☎5916】